

カキ養殖の作業工程

[作業工程のTOPへもどる](#)

四角をクリックすると画像をご覧ください

種苗購入

(前年9月下旬～10月下旬)

- ・宮城県などからホタテ板に付着させた種ガキを購入
(70～80枚/連)

垂下作業

(前年10月～11月中旬)

- ・ロープに約30cm間隔でホタテ板を止め、垂下連を作成する。

仮吊り

(前年11月～4月)

- ・淡水の影響のある場所へ密殖ぎみに垂下し、ムラサキイガイの付着、及び魚(フグ等)からの食害を防ぐ。

本養殖

(4月～)

- ・垂下連を1本ずつにして育成を図る。
- ・浦村では4月に漁場の抽選を行い、5月に筏の移動を行う。
- ・海底掃除の実施

出荷作業

(9月～翌年3月)

収穫

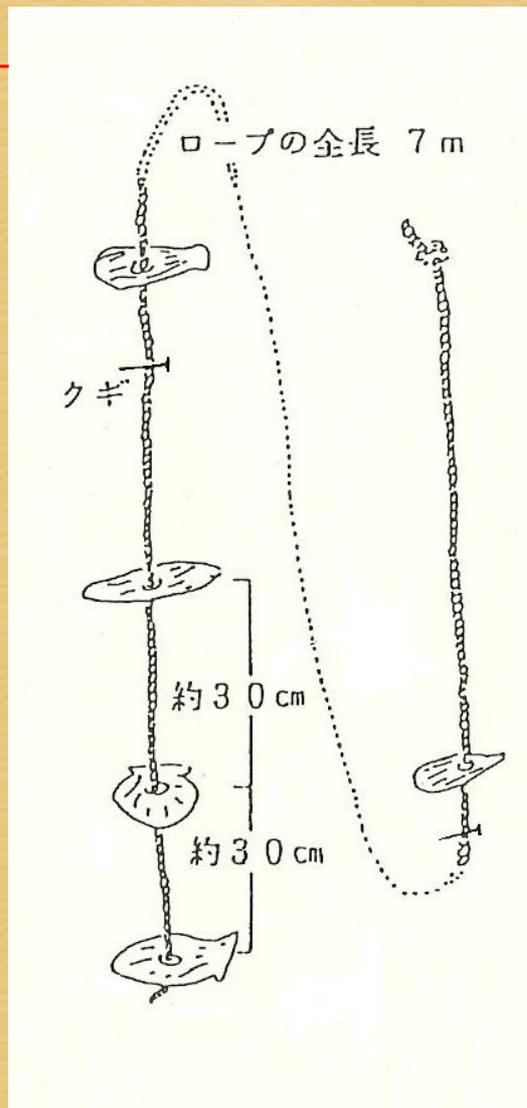
- ・出荷に合わせて養殖筏から引き上げる。

カキばらし

- ・ホタテ板からカキを個々に外す。

貝掃除、洗浄

- ・カキの表面の付着生物等を取り除く。
- ・洗浄機等で泥などをきれいに落とす。



[養殖場からのたよりをご覧ください](#)

ここをクリック

・HACCP手法等に関する対応

海洋条件等により収穫の1週間程度前から最上部の水深を3.5m以深に下げる。

直近の安心情報を確認しておく。

カキ殻の側面に穴が開いたり割れたものは加熱調理用もしくは廃棄とする。

陸揚げした順に作業を行う。

異なる海域のカキを混合しない。

再汚染の可能性のある二重殻のカキ、異物等を除去する。

